広報
さめがわ
昭和58年
1月号
No. 349
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

弓張り峠の展望

弓張りの峠に立ちて目路はるか那須連峯は地の果に見ゆ
峠路を越えて往き来し友垣の運命の跡をたどるこの朝

曙峯



弓張り峠は、赤坂東野遠ケ竜から唐露の集落に至る中間の峠である。弓張木ともいう。標高600m、徒歩で越えた時代はなかなかの難所であった。

ここから見る西方那須連峯の景観はすばらしい。よく晴れて空気の澄んだ朝もよく、夕映えの残る暮れ方もまた美しい。大自然の壮大な偉容に心が洗われる思いがする。

1月6日	消防団出初式
1月15日	鮫川村成人式
1月26日	文化財防火デー

今月の人口
(12月25日現在)

		前月比
人口	5,612	(+7)
男	2,780	(+3)
女	2,832	(+4)
世帯	1,127	(+0)

新しい老人医療制度
――現在の老人医療費受給者証は二月から無効になります――

新しい老人医療制度が今年二月から、老人保健法によって実施されます。

この法律で医療の給付と各種保健事業が総合的に実施されることになり、医療については次のように変わりますから充分注意して下さい。

●老人医療を受けるには健康手帳と保険証が必要!!

受診の際、これまでの老人医療費受給者証に代わって健康手帳を提示することになります。七〇歳以上の方全員と、寝たきり老人等の方は、村から必ずこの手帳の交付を受けて下さい。

●一部負担金がかかります

老人医療を受診する場合、一部負担金として**外来の際は医療機関等単位に一ケ月ごとに四〇〇円、入院の際は二ケ月を限度として一日三〇〇円**を支払うことになります。

※ 健康手帳の交付は、一月末頃行います。後日回覧等で交付内容、日程をお知らせします。

村税完納に感謝

昭和五七年度普通徴収分の村税は、去る一二月二五日全村完納となりました。

これで本村は、継続一六年の全村完納となり、あらためて皆様の納税に対するご理解の深さに感謝申し上げます。

例年のとおり、一二月一日から納税完納運動を実施しましたが、納税者の皆様を初め区長さん、代理さん、組長さん方のご協力のもとに本運動が推進され、運動期間最終日に全村完納となりました。

重ねて深く感謝申し上げますとともに、今後とも納税についてご理解とご協力をお願いいたします。

村政のあゆみ(45)

昭和五八年の輝かしい新春を迎え、皆様の上にいよいよ幸多く、福祉の豊かなることをお祈りいたします。

昨年は期待のみ多く、自然災害の頻発に追われた年でありましたが、皆様のご苦心とご尽力により、それぞれ可能とする限りの対応が進められ、それなりの成果をあげ得たものと思います。

政府米は年末に二万俵の大台を越し、葉煙草の減収は生産費補償制度でその一部が補填されることになり、こんにゃくの生育不良は価格の持直しで、肉牛は価格補償制度の発動で、やや愁眉をひらくことになりました。

農業共済金は八、五五七万余円で前年の四・五倍に達し、災害経営資金枠、各種補助事業の確保についても努力の跡が見られ、災害復旧事業の年度内実施個所六三個所一億四、六三四万余円については、救農土木的方法で実施に入っております。



のぞみ多き昭和五八年のねがい

村長　石田卯子八

昭和五八年はこれらの体験の上に新しい工夫を加え、更に努力を重ねて、明るく豊かに、やすらぎのある村づくりに進みたいものであります。

さて国内情勢は、昨年一一月中曽根内閣が誕生し、行政改革、財政再建の重要路線は引続き強力に進められることになり、既に新年度の国家予算はその骨格が固まりました。

地方公共団体としての市町村は好むと否とを問わずこの趨勢に順応しつつも、その中で個性ある施策の展開を図らなければならないわけであります。

わが村としては、既定計画である過疎地域振興計画、新農業構造改善計画、第三期山村振興計画などの既定方針を尊重しながら、補助助成が削減され、実施年次も順延を余儀なくされる情勢下にあって、先づ何を選ぶべきかを慎重に検討し、効果的な重点選別主義を徹底していきたいと思います。

特に本年は変動する新しい経済社会情勢に即応して、村行政の長期展望に立つ長期振興計画の検討策定が必要であります。

しかもそれは村の組織、機関も諸団体も、分担すべき使命と役割を見定めながら、自力自助を柱として、統合された目標に集中協力して進む態容のものでありたいものと考えられます。

希望多き昭和五八年、碧い空と緑の山なみと、清らかな水に象徴される豊かな鮫川村の限りなき前進と、皆様の健康と活力が一層向上充実されるよき年であることを祈念して止みません。

心配ごと相談

一月二〇日(木)
午前一〇時～午後二時
山村開発センター
行政相談

おめでた

十一月
宝木　永野　幹子　父永野政春
福原　蛭田　啓志　父蛭田啓喜

十二月
宿ノ入　山本　佳代　父山本和宏

おくやみ

		年齢	世帯主
十一月			
戸倉	関根	利次82歳	関根徳次
広畑	松本	ミヨ71歳	松本啓助
上	高坂	勝四75歳	高坂幸男

初めての企画

末婚者ふれあい号は行く



未婚者たちのふれ合い・たのしい食事のひととき

村の新しい企画である〝末婚者ふれあい号〟を、去る一二月一九日いわき市に運行しました。

この事業は、山村開発センターが実施機関となり、目的は、ふるさと鮫川村の後継者育成と、若者の定住を図り、お互いの理解と友情を深めることです。

参加者四〇名（男二七名、女一三名）がバスで常磐ハワイアンセンターに向って出発、午前中はゲートボール競技で楽しみました。

石田村長も出席して、若い後継者に激励のあいさつがありました。

午後は自主交歓の時間をとり、スケート等で楽しく語らいの後、夕方帰村しました。



年頭のあいさつ

議長　芳賀　喜一

輝かしい新春を迎えるに当り、鮫川村議会を代表して村民の皆様に、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、三年続きの異状気象により農作物が不作となり、又台風一〇号・一八号の強風豪雨による災害で皆様がたには、その対策に誠に容易でない年でありました。

また国家においても、内外ともに多事多難の年でありました。特に世界的な不況のもとに深刻な経済不況となって、少なからず私どもの生活を脅かしました。それにともない、国家は未曾有の財政危機となり新しい財政運営の時代を迎え、その影響は、地方財政にも厳しいものがあると思われます。その様な状況の中において、本村議会としましても、村財政の許す限り、社会福祉・農政・建設事業等に努力し、活力ある住みよい、働きやすい環境づくりに、できるだけの努力をいたしたいものと、決意を新たにするものであります。

皆様がたの変らぬ御協力をせつにお願い申しあげますとともに、新しい年の初めに当り、村民皆様の一層のご健勝と、ご多幸を祈り、年頭のごあいさつといたします。

緑の山林を育てる間伐講習会

先頃村主催で蔵の草村有林で間伐技術講習会を開いたところ、熱心な村内の林業家が多数参加して棚倉林業事務所の専門技術者を講師に、実技の指導を受けました。

戦後努力して植林した林木が今間伐の適期になっているので、雪害木の整理をかねてこれを行えば将来見事な成長が期待でき、雪害対策の補助もつくし、間伐材は小経木で売れるので一挙三徳になるということです。



▶蔵の草で開かれた間伐講習会

新しい村政モニター

村政モニターの制度は、広く村民の声を聴き、それを村政に反映させ、活力ある村づくりを進めるため設けられている制度で、農林業者や商工業者など、各階層から三〇名を委嘱しています。

今年の村政モニターは、各行政区長の推せんにより、一二月一日付で次の方々が委嘱されました。

赤坂西野区▽江田幸雄（農林）▽矢吹健治（農林）▽白坂昭彦（商工）▽舟木キイ子（販売）▽高坂千枝子（主婦）

西山区▽水野勝徳（農林）▽本郷公市（農林）▽関根一好（商工）▽関根啓太郎（技能）▽坂本ミツヨ（主婦）

赤坂中野区▽円井満正（農林）▽橋本正嗣（商工）▽生方スミ（事務）▽金沢広一（技能）▽青木正博（自由）

赤坂東野・石井草区▽岡部豊（農林）▽円井稲子（主婦）▽宗田トミ（農林）▽前田武久（技能）▽吉田理恵子（事務）▽藤田朋子（販売）

富田区▽岡部初男（自由）▽白井邦光（農林）▽松本重忠（商工）

渡瀬区▽芳賀登（農林）▽松本幸典（商工）▽菊地吉雄（事務）▽寺島和子（主婦）

青生野区▽加藤憲治（農林）▽岡部重勝（販売）

58年によせる



村長　村政モニターの皆さん方にはお忙しい中を繰合せご出席いただきまして、ありがとうございます。

これから「望み多き昭和五八年によせる」というテーマで座談会に入りたいと思います。新しい年に寄せる希望、期待、願い、要望或は夢など、何でもご遠慮なくお出し下さい。

冷害は三年続きになった訳で、昨年は一昨年より幾分よいかと思ったところ案外昨年の方が結果的に劣ったようです。政府米も五五年は六、九四七俵で最悪の数字でしたが、五六年は二四、四六七俵出ています。五七年は二万俵を越したものの品質の低下が甚だしく、四七%が二等米になりました。

それに加えての台風豪雨の被害で道路、農地、建物その他の施設等に大変な被害をうけました。どうしても昭和五八年こそよき年であれと願わずにはいられません。

このような情勢の中で、皆さん方のご意見やご希望を、十分にお話頂きたいと思うわけであります。

さぎり荘が村に移管されたら　このような運営を

前田武久　さぎり荘が村へ移管になるかという話をききますが、経費も多くかかるでしょうけれど、収益も上るようにして、広く村民に利用されるように運営されたらよいと思いますが如何でしょうか。



村長　これは白河広域圏の老人保養センターとして建設された施設ですが、今では各町村ともこの種の施設を持つようになったので、大信村の寿荘と共に地元に譲渡するという話が出ているわけです。

何しろ温泉源を持っている点では他町村よりすぐれているので、これを大切にしながら、設備を改善し、青少年を含めた一般村民の方はもとより、広く他の地域の方々にも利用されるような施設にしたいと考えています。



さぎり荘を視察するモニターの皆さん

関根一好　商工会の理事会でも話していますが、鮫川の水資源や澄んだ空気緑の豊かさなどをもっと宣伝して青少年の健全育成や老人の生がい対策などに役立てることが必要であり都市の子供たちや父兄も来て、自炊などできるようにすれば、商工会側にもプラスになる訳です。



村長　山村である鮫川村と都市との交流を図ることは、経済面だけでなく文化や社会的な面でも重要なことですから、努力していきたいと思います。

関根一好　もう一つ関連しますが、鮫川村の何景かを選んでハイキングコースをつくるという話も文化祭の座談会に出ました。それと農協などが村のお土産品を作ってお客様に利用して貰えば、収入にもなり、村の宣伝にもなるので期待したいものです。

これからの水田再編対策に　どうとり組むべきか



白井邦光　本村では三年続きの冷害で非常な打撃をうけました。これからの生活も容易でないと思います。こんな状況の中で水田再編対策はどのように理解し、実行して行ったらよいでしょうか。

村長　全国的には米の需要が減る一方で、生産が過剰であるから、減反して他作物に変えて行くというのが国の方針で、わが村の農家の方々はまじめですから目標を二〇%以上も超して実行しています。

しかしこのように冷害が続いては、果して米は余るのかという疑問も出てきます。そのためもあって今年の目標面積は、昨年より五ヘクタール少い八〇ヘクタールと

望み多き昭和

新春座談会


松本重忠


松本幸典

出席者（敬称略）

村政モニター
- 矢吹　健治（仁　田）
- 本郷　公市（落　合）
- 関根　一好（棚　橋）
- 橋本　正嗣（道少田）
- 生方　スミ（〃　）
- 岡部　豊（大　竹）
- 円井　稲子（広　畑）
- 宗田　トミ（内ケ竜）
- 前田　武久（官　代）
- 吉田理恵子（芦ノ草）
- 白井　邦光（中　沢）
- 松本　重忠（反　田）
- 芳賀　登（田苗下）
- 松本　幸典（関　下）
- 寺島　和子（江竜田）

村側
- 村長　石田卯子八
- 助役　坂本　恵司
- 教育長　矢部　元良
- 総務課長　緑川　清幸

新農構計画でこれからどんな事業が

村長　新農構計画を実施以来三年を経過し、それぞれ事業は進んでいますが、国家財政のゼロシーリングの影響をうけて、補助額が制限され、計画事業が延々になっているのもあります。それで是非必要とするものを重点的に選別して実施する方法をとらざるを得ないのですが、これについてのご意見を聞かせてください。

前田武久　東石区の集落センターは是非実現して頂きたいものと念願しています。

芳賀登　渡瀬区集落センターも、われわれとしては是非実現を希望しています。

村長　他の行政区が青生野区を定められました。

この面積は消化しなければなりませんが、転作にはわが村は最も悪い条件があります。それは排水不良という土地条件で、先づこれを改善するための暗渠排水工事を施行しなければなりません。

これも集団的にできればよいのですが、小規模の暗排にも補助の途があり、村も嵩上げすることにしております。

転作の作物はわが村では飼料作物の牧草が多いが、これは畜産の村として当然のことながら、栽培技術はまだまだの感じです。大豆や麦も栽培されますが、最近熱心な青壮年の皆さんが、ハウスでトマトをつくり相当の収入をあげています。

また他府県ではハトムギとかヤマメの養殖とか独自の作目を選んでいるところがあり、注目されます。

減反の行われる機会に、このような農業経営の内容を変革拡大する道を選ぶことが大切だと思います。


昨年完成したトレ・セン

関根一好　村の文化祭は一切村が主体でやっている感じですが、これは農業祭りということで農協や農事組合が主体になってやるべきで、水田再編対策などもその中で十分検討すべき時期が来たように思います。

生方スミ　昨年の場合は間に合わなかったが、今年は農協独自のものをやりたいと考えているようです。



村長　そのことは昨年の文化祭の反省事項でもまとまっているので、今年は農業関係は農協中心、商工業は商工会中心というように、独自性のある文化祭にしたい考です。

関根一好　西山の運動広場はどんな見通しですか。

村長　何も彼も一緒に出すと、何もとれなくなって困るので、関係者とよく打合せ協議の上、是非必要なものは必ずとる方針で進めたいと思います。

芳賀登　新農構のこれからの事業計画の内容を具体的にお聞きしたいのですが……

村長　この事業は総額一二億二八〇〇万円に上るぼう大な計画で実施中ですが、その中で出来たのが農業者トレーニングセンターやたばこの育苗センターなど、それに塚本岩野草の圃場整備事業、西山、赤坂中野、富田の各区集落センター、塩倉、岫長、馬場、大塩の農事組合集落センターがあります。

これからの事業としては農協のライスセンター、野菜集荷施設、稚蚕共同飼育所があり、村の農業技術センターも残っています。

これらの順位については十分慎重に検討協議をかさねてきめる予定です。

岡部豊　集落センターの補助率や負担率はどうなっていますか。

村長　国庫補助が五〇%で、村が一〇%つけています。行政区単位の集落センターには県費補助も一〇%つきます。含めて全部建設ずみになっているので、是非予算の枠を確保するよう努力したい考でいます。

青少年を健やかにみんなであたたかく育てよう

座談会



本郷公市



円井稲子　青少年の健全育政についてですが、青少年の非行が最近目に余るものがあります。中学生を中心に校内暴力や家庭内暴力など県内でも数知れず、それが低年令化する傾向ときいております。

私たちは子を持つ親として人ごとは思えません。このような青少年の非行化を防止することについて、ご当局の計画をおききしたいと思います。

村長　大変重要な問題でありますと共に大変むずかしい問題でもあります。わが村の青少年はそれほど悪質なものはないかと思いますが、それでも程度の差こそあれ、問題がないわけではありません。

これについては学校教育の面でも十分注意と努力が必要でありますが、家庭でのしつけ、親子の対話、地域社会の暖かな思いやりというものが大切であると思います。

村としては青少年がのびのびと遊び且つ友情を育てる施設として青少年の家を整備し、またトレーニングセンターや民俗資料館などもたのしく使って貰うように計画しています。

また公民館主催で文化財教室や高校生の集いなども開いていますが、専門家の矢部教育長さんからお話し願いましょう。

教育長　水と空気の澄んだ所に非行はないと信じています。本村ではその上施設も整っているので、文化財教室やふるさと事業等を通して青少年の育成活動もできます。学校では教員住宅があり二六人の先生方が住宅におられるので生活指導ができる訳です。

また各学校で家庭教育学級を開いて非行問題も勉強しています。青少年の健全育成の協議会もあり各地区のPTAの協力を得て、非行のないよう進めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

関根一好　非行の問題ですが、若い人たちは出稼ぎなどで収入を得ることが忙しいので、老人が孫を見ながら昔からの正しい仕来りや、正しい生き方を教えて行かなければならないではないか。また、婦人会も料理講習だけでなく、子供のしつけ、家庭での教育などについて勉強する必要があると思います。

商工業の振興 生活合理化運動の反省



橋本正嗣　商工業の振興について要望したいと思います。村内商工業者は冷害などによる農家収入の減少によって、売上減の影響を強く受けています。農外収入を得るために、若い後継者が村に定着するような工場を誘致して欲しいと思います。



新宿の商店街

また五七年に行われた結婚式を見ると、開発センター利用と他の町に行った数はほぼ同じで、センター利用が一件だけ多いようです。もっと利用条件を緩和すれば華やかさを増して、利用数が増加すると思います。そのような対策を講じて欲しいと思います。

村長　経済の高度成長時代には山間僻遠の地にも工場の誘致が行われたが、現在の低迷する景気の中では困難な課題となりました。特に男子型の工場はむずかしい状況ですが努力しなければならないと思います。また通勤圏を拡大する条件の整備も進めて、住民所得の向上を図りたいものです。

結婚式は、元来は家庭で行われたものが現在のように拡大したわけですが、開発センターで行っている公民館方式は、生活合理化の一環として、簡素で有意義なものにしようというねらいがあります。

低廉な経費で、新しい人生の旅立ちを暖かな心で祝って上げるのが趣旨ですから、町の営業者が行う豪華な料理を並べ、数多い演出で新婚の二人を疲れさせるばかりの結婚披露宴とは基本的に趣旨が異るものであります。

その何れを選ぶかは本人の希望に委ねるほかはないわけです。

しかし世の中のうつりかわりにつれて改善すべき点は改善し、絶えず補足すべきものは補足して若い人たちの希望に可能な限り添うように計画をしております。



宗田トミ　生活合理化運動の中でお見舞返しを礼状だけにすることは一般に行われるようになりましたが、香典返しの廃止はまだ実行されないようです。ハンカチ一枚位のお返しにしたらどうでしょうか。

それから図書館の利用をもっとPRすることや、成人式を簡素にすることも必要と思います。

村長　香典返しは受ける方で辞退することになっていますが、一般的には実行されないようです。ハンカチ一枚位のものにすれば普及性があるかと思われるので、関係協議会などで検討しましょう。図書館の利用も一層すすめたいも

特集 新春



寺島和子

由は一生に一度の成人式だから国の定めた祝日に郷里に帰ってゆっくり友だちとも会って一緒にやりたい。一度は晴れ着も作らなくてならないのだから、この機会につくりたいなどの意見が出ていました。

現在では県内の半数がお盆成人式をやっている現状なので、更にまた若い人と親たちの意見をおきして、それを尊重した方法を考えたいと思います。

のです。成人式はお盆にという傾向もありますので、先に若い人たちからアンケートを取ったことがありますが、その時は圧倒的に一月一五日賛成が多かった。その理

災害復旧の対策はどう行われるか



道路は大量の土砂で通行止



岡部豊 今年は冷害や台風災害で村道農地河川などに大きな被害がありました。この対策はどのように進んでいますか。

村長 今年の災害は数次にわたって村内に被害をもたらしたので、災害復旧工事の国の査定を通った個所が九三個所もあり、二億三、九〇〇万円が必要となっています。その内六三個所について年度内に復旧工事を行うことにしました。その経費は一億四、六〇〇万円かかりますが、九〇%程度の国庫補助を期待しています。

また請負額一〇〇万円について二〇人以上の冷害被災農家を雇用するよう条件をつけてありますから、救農土木として役立つことにもなります。

役場庁舎の改築は計画されているのか（そのほか）



関根一好 役場の各課が公民館やセンターに分れているため村民は大変不便を感じています。駐車場はないしもう役場建築の時期にきていると思いますが計画はありませんか。広い駐車場のとれる場所に移転改築が必要と思います。

村長 事情はよくわかっているが、役場を動かすとなれば第一場所の選定が重要であるし、また国県補助のない事業ですから財政上住民の負担を重くするため慎重に対処することにしております。しかし何れは改築しなければならないので、十分皆様のご意向を徴しながら進めるつもりです。



芳賀登 私は畜産人として毎年行われている畜産共進会の会場がせまいので、他に移転して貰いたいと思っています。

村長 現在の場所は鮫川の河川改修のため、使えなくなる見通しもあるので早期移転を検討しています。まだきめてはいませんが、今の高校分校が移転する跡地なども候補地の一に考えてはどうでしょうか。



改築がまたれる役場庁舎

前田武久 鮫川保育所の方に入る村道の入り口が狭くて危険のようですが改良の計画はありませんか。

村長 県の河川改修計画に合せて計画したいと考えています。

矢吹健治 湿田を改良して生産を高めることが大事だと思いますが、よい方法がありましょうか。

村長 農用地の汎用化、多面的な活用ということから見ても湿田改良は重要です。もっと地下水を完全に排除する技術的な方法を研究して実施することが望まれるし、畑地化した水田にはいんげん、トマトなどの園芸作物や畜産のための飼料作物、それも牧草だけでなく麦類や豆類などの栽培を普及すべきでしょう。

生方スミ 園芸作物はあきずに長年作ることが一番大切だと思います。農協も力を入れていますから、安くなったからといってすぐ止めずに、続けて努力してほしいものです。

岡部豊 議会だよりを読んでいますが、六月の議会の記事が一二月では遅いようですが、もっと早く出せませんか。

村長 なるべく早く発行できるよう努力します。



吉田理恵子 鮫川村では乳児や幼児の医療を無料化していますが、これは他の町村より一歩進んだ施策なので是非継続して頂きたいと思います。

村長 鮫川村は子供を大切にする村であることを標ぼうしているので、この施策は行政改革の時代でも継続していく考えでおります。

村長 お話はまだ尽きませんがこの程度にして、村の限りない発展を祈りながら座談会を終ることに致します。

公民館だより

第五回婦人学級を開催
おせち料理と正月の生け花を実習

第五回婦人学級は、一二月一五日、一八名の学級生が出席して山村開発センターで開かれました。

講座の内容は、午前中は棚倉保健所・喜古千歳栄養技師を講師に、おせち料理を実習し、楽しい昼食会となりました。

午後は杉山イソ子先生を講師に、正月の生け花を実習しました。



生け花でお正月を明るく



新年をたのしくするおせち料理の実習

社会教育委員会 文化財保護審議会 開かれる

根本伝さんに県表彰状を伝達

去る一二月一五日、午前一〇時から山村開発センターで社会教育委員会（鷲野谷満会長、委員五名）と文化財保護審議会（杉山忠男会長、委員五名）が合同会議を開き、九名の委員さんが出席されました。

会議に先だち、六年間本村社会教育委員の任務を果された根本伝さんに、功績をたたえる県社会教育委員連絡協議会長の表彰状が矢部教育長から伝達されました。

会議は今年度の事業実績（中間）の報告につづき、来年度の事業計画を審議して午後二時閉会しました。



表彰状の伝達を受ける根本さん

第八回社会学級

第八回社会学級は、一二月一七日山村開発センターを会場に開かれました。

講座の内容は「時事問題と高齢者の老化防止」、講師は白河市室光夫先生で、学級生五〇名が受講しました。



老化防止を聞く社会学級生

未登録銃砲・刀剣発見者は登録手続を!!

未登録の銃砲・刀剣を発見された方は、次の手続きで登録を受けて下さい。

1.発見届の提出
最寄の警察署に発見届を提出して下さい。

2.登録審査会開催通知
発見手続きが済むと、届出者に登録審査会の開催通知があります。

3.登録審査会
登録審査会に登録申請書を提出して下さい。その際つぎのものを持参して下さい。

(1) 発見の銃砲・刀剣
(2) 発見届
(3) 印鑑
(4) 手数料＝4,500円

4.審査会開催日・会場
1月27、郡山合同庁舎
2月24日、県庁

なお、詳しくは県教育庁文化課（電話0245-21-1111内線3986）へお尋ね下さい。

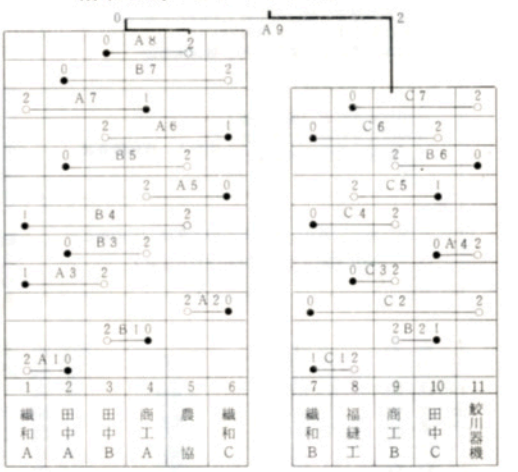
熱戦が展開された 職場職域球技大会



優勝の星に輝く商工会婦人部

去る12月12日、午前9時から農業者トレーニングセンターを会場に、村体育協会主催の職場職域球技大会（家庭バレーボール）が開催され、参加チームは11チームと多く、熱戦が展開されました。

結果は次のとおりでした。



鮫川村書き初め展 作品を募集

第九回鮫川村書き初め展の毛筆作品を募集しますので多数出品してください。

一、提出期限　一月二二日（土）
二、提出場所　山村開発センター
三、書題等
㈠　課題の部（そうそうたりけほとのつき）
①書題＝「溶々蒹葭月」
②字体＝楷書③用紙＝自由
㈡　自由の部
四、記載事項　作品に住所（大字から）・氏名を記入すること。
五、対象者　高校生以上の村内居住者
六、表彰　金・銀・銅・佳作に賞状をおくります。

ぼくもわたしももうすぐ一年生

昭和五八年度新入学児童

昭和五八年四月、小学校に入学するお子さんは、昭和五一年四月二日から昭和五二年四月一日までに生まれたお子さんです。

昭和五七年一二月一日現在の調べでは、入学予定のお子さんは次の一〇三名ですが、名前が異っていたり、もれていましたら、昭和五八年一月二〇日までに教育委員会学校教育課（電話九―三一五一）に申し出て下さい。

昭和五八年度新入学児童

児童名（保護者名）生年月日順

◇　**青生野小学校　一二名**

▽山形利実（新一）▽藤田耕治（茂）▽三瓶ひとみ（栄治）▽沢口久美子（和久）▽八代真樹子（亮）▽山形美智子（春男）▽新妻裕美（正司）▽岡部久子（照夫）▽岡部美由紀（利雄）▽金沢豊子（助右門）▽長井順子（太一）▽森田三恵子（政春）

◇　**渡瀬小学校　一四名**

▽大平義明（博明）▽藤田雅教（義人）▽蛭田和彦（勝二）▽芳賀辰也（敏彦）▽蛭田忠幸（洋二）▽小松喜明（次男）▽芳賀博行（利弘）▽国井朱美（俊治）▽宮崎奈津恵（富幸）▽近藤和代（昌文）▽山形幸江（賢一）▽藤田繭美（俊一）▽芳賀いずみ（操）▽佐藤政子（ヨウ子）

◇　**富田小学校　九名**

▽青戸功次（代吉）▽片野義典（良雄）▽鷺野谷隆雄（重一）▽国島敦志（義麿）▽鈴木洋一（栄）▽坂本幸生（圭司）▽円台幸枝（次男）▽坂本礼子（義男）▽円谷さゆり（鶴男）

◇　**西野小学校　一六名**

▽須藤美行（美喜男）▽目黒信一（四郎）▽水野竜司（富雄）▽舟木敏勝（敏夫）▽矢吹清勝（栄蔵）▽矢吹功（俊次）▽石井進（富一）▽高坂徹（達雄）▽石井こずえ（達夫）▽白坂真由美（万吉）▽鈴木由佳里（新市）▽鈴木美幸（幹宏）▽佐藤裕美（恵一）▽高坂裕美（修一）▽北條隆子（正敏）▽西野千春（長治）

◇　**西山小学校　一九名**

▽関根裕則（孝夫）▽高木順一（雪廣）▽我妻達也（福雄）▽斎藤隆幸（芳信）▽我妻誠（光男）▽根本克美（宏）▽根本弘美（日出雄）▽緑川昌子（勝美）▽関根紀子（正）▽関根直美（芳包）▽関根美智枝（英也）▽関根幸恵（政信）▽大竹紘子（徹）▽我妻妙子（康夫）▽坂本真樹（忠雄）▽高野優子（長二）▽関根徳子（徳次）▽阿久津智子（一男）▽関根美香子（信一）

◇　**鮫川小学校　三三名**

▽森紀幸（正紀）▽塩田純一（忠男）▽諸橋忠男（正則）▽中川西正幸（正夫）▽蛭田利幸（美代志）▽中川西広行（隆男）▽大河内努（正男）▽田子聡（昭美）▽中川西幸雄（満）▽岡崎進也（良一）▽本橋俊英（隆宏）▽藤元敦郎（健次郎）▽佐川一男（伸一）▽佐藤真一（元治）▽森隆之（孝男）▽渡辺かおり（保男）▽渡辺さおり（保男）▽金沢純子（吉衛）▽矢吹幸恵（秋男）▽山本淳子（登）▽籟木末子（正昭）▽蛭田育美（彦忠）▽中川西ひろみ（一美）▽藤田ひとみ（一幸）▽藤田真弓（洋美）▽田子裕子（一夫）▽岡部さゆり（英夫）▽宗田鈴穂（雅之）▽矢吹利恵（敬事）▽鈴木和愛（一二）▽佐川文子（一郎）▽森寿子（元良）▽芳賀美智子（逸義）

国民健康保険の異動手続きはお早目に

加入及び脱退は一四日以内に届出を!!

被保険者の資格に異動のあったときは、必ず役場の窓口で異動の手続きをして下さい。

特に国保加入者が会社等に勤めて社会保険に入り、そのまま届出をせず二つの保険に入ったままというケースがあります。充分注意して下さい。なお、社会保険をやめたときは国保に加入しなければなりません。

社会保険をやめたら
国保加入の届出
社会保険に入ったら
国保脱退の届出

異動の手続内容は別表のとおりです。

◆高額療養費自己負担限度額が五一、〇〇〇円になります。

現在の自己負担額は九月診療分から四五、〇〇〇円ですが、五八年一月診療分から五一、〇〇〇円に改正されます。

高額療養費に該当される場合は従来どおり領収書と印かんを持参し、支給申請手続きをして下さい。

健康保険の加入は
1人1保険



こんなときに手続きを		手続きに必要なもの
国保にはいる場合	転入したとき	印かん（被保険者証）
	職場の健康保険をやめたとき	印かん、職場の健康保険をやめた証明書（被保険者証）
	子供が生まれたとき	印かん、被保険者証 母子手帳
	生活保護をうけなくなったとき	印かん
国保をやめる場合	転出するとき	印かん、被保険者証
	職場の健康保険に入ったとき	印かん、両方の被保険者証（職場の保険証が未交付のときは証明できるもの）
	死亡したとき	印かん、被保険者証 死亡を証明するもの
	生活保護を受けるようになったとき	印かん、被保険者証
その他	村内で住所が変わったとき	印かん、被保険者証
	世帯主や氏名が変わったとき	印かん、被保険者証
	世帯をわけたりいっしょにしたとき	印かん、被保険者証
	被保険者証をなくしたとき	印かん
	子弟が修学で他の区市町村に転出するため、別の被保険者証が必要なとき	印かん、在学証明書 被保険者証
	出かせぎなど、長期間他府県などに行くため、別の被保険者証が必要なとき	印かん、被保険者証
注 転入、転出、転居などのときは、その届と一緒に手続きをしなければなりません。		

◆入れ歯の作製にご注意!!

―六ケ月以内は再度作製できません―

新しく作製した有床義歯（入れ歯）は、相当期間使用に耐えるものです。主治医の指示に従わずに転医し、六ケ月以内に再度入れ歯を作製しても保険給付はありませんのでご注意下さい。

なお、遠隔地へ転居のため通院不能、あるいは急性歯牙疾患のため喪失歯数が異った場合等は保険給付されます。

ゴミの収集日

収集コース	種別	収集曜日	1月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	毎週 月 木曜日	6.10.13.17 20.24.27.31
	不燃物	隔週金曜日	14.28
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	毎週 火 木曜日	6.11.13.18 20.25.27
	不燃物	隔週金曜日	14.28
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒乗～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	隔週木曜日	13.27
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	隔週水曜日	12.26
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	月1回4週毎の金曜日	7
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	隔週金曜日	14.28

※ 休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※ ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

休日の在宅当番医

月	日	曜	当番医 棚倉町	当番医 塙町	当番医 矢祭町
1月	1日	(土)	阿部		木村
	2日	(日)	藤田	中島	
	3日	(月)	勝田	車本	
	9日	(日)	菅原	根本	
	15日	(土)	薄葉木	厚生病院	
	16日	(日)	大診療所		慈泉堂
	23日	(日)	和田	石川	
	30日	(日)			木村

年始特別警戒を実施

明けましておめでとうございます。昨年中は火災予防にご協力をいただき厚くお礼申しあげます。

しかしながら残念なことに、一名の焼死者が発生した火災がありそのほか不注意による火災も発生しています。

今年こそ無火災を記録するよう消防署では年始の特別警戒を行っておりますので、皆さんのご協力をお願いします。

村民一人ひとりが火災予防につとめ、地域ぐるみ、家族ぐるみで火の用心をお願いします。

災害のない明るいお正月をすごしましょう。



「火災と救急は　一一九番」

棚倉消防署鮫川分署